

## 令和元年度学位授与式 式辞

皆様、おはようございます。本日ここに令和元年度岐阜薬科大学学位授与式を挙行了しましたが、例年ですと岐阜市長様はじめ多くの来賓の方々や長年にわたり皆様方を支えてこられましたご家族の方々、さらには在校生にも参加いただき、皆様方の人生の節目となるこの良き日をみんなで祝って参りました。

しかし今年は、ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症・COVID19の感染が拡大しており、4月から新たな進路に羽ばたかれる皆様方やご家族の方々の安全確保と感染拡大防止を最優先に考え、このような形式での式典とさせていただきました。感染拡大を防止するためにはやむを得ない措置でありますので、大変残念ですが是非ご理解を賜りたいと存じます。

さて今年度はただ今、博士（薬学）を13名に、同じく博士（薬科学）を3名に、そして修士（薬科学）を33名に、学士（薬学）を71名に、同じく学士（薬科学）を21名にそれぞれ授与いたしました。

学位を取得されました皆様方には心よりお祝い申し訳上げますとともにこれまでのご努力に対し心より敬意を表する次第であります。

皆様方には、今日（こんにち）を迎えられるまでにはうれしかったこと、楽しかったこと、また時にはつらかったことなど様々な経験をされたことと思います。また、ご家族をはじめ多くの方々の支えがあったことと存じます。是非それらの経験をこれからの人生の糧として一層励んでいただくとともに感謝の気持ちも忘れないでいただきたいと存じます。

皆様方は、本日、岐阜薬科大学を巣立ち医療の現場や医薬品の研究・開発の分野、あるいは基礎研究や行政分野など様々な分野で本学で学んだ薬学の知識を活かして活躍されることとなりますが、常に岐阜薬科大学の卒業生であるという誇りを持って頑張ってください。私も岐阜薬科大学関係者にとっては、どのように離れていても、皆様方の活躍される姿を見聞きすることがこの上もない大きな喜びであります。

さて皆様方ご承知のとおり、今、我々を取り巻く社会環境は複雑かつ多様化しております。

具体的には、経済のグローバル化の進展による国際的競争力の激化や、地球温暖化等の環境問題、地域間格差、更にはジェンダー不平等等多くの課題が山積しております。

一方で、IoT、ロボット、人工知能（AI）といった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術も急速に進展しております。

さらにここに来て、COVID19が世界中に感染拡大していることにより世界経済が失速するなど大きな影響が出ております。

そのような激動の社会にあって、皆様方が進まれる医療・健康分野においても、我が国は世界でも類を見ない超長寿社会、高齢化社会を迎え、医療費の高騰などの問題を背景に社会保障制度の見直しや、「介護を受けたり、寝たきりになつたりせず、元気に日常生活を送ることができる」健康長寿の延伸を図るための最適な薬物療法の提供や、地域包括ケアシステ

ムの構築などが進められております。具体的には、病院等医療機関などにおいては、チーム医療の中でがん専門薬剤師等「高度専門薬剤師」が、また、市中の薬局においては地域包括ケアシステムを推進するための「かかりつけ薬剤師」など「薬の専門家」としての薬剤師への期待が一層大きくなっております。

また、医薬品の研究・開発、創薬と呼ばれる分野におきましても、人生 100 年時代を迎え国民の健康を守るためさらなる新薬の開発が求められております。

このように大きな変革が求められている社会にあって「自分は何をすべきか、常に自問し、高い志を持って」岐阜薬科大学の卒業生としての存在感を示すべく日々研鑽していただくことを大いに期待しております。

いずれにしても、社会に出られたら今まで以上に勉強し楽しい人生、素晴らしい人生を歩んでいただきたいと願っております。

そこで、社会で仕事をする上で「人と付き合う。交わる。」場合の心構えを私の経験の中で得た言葉を送りたいと思います。

それは、皆さんもご存じかもしれませんが、司馬遷の史記の中に出てくる「李將軍」の言葉で、「桃李もの言わざれども、下（した）自ずからみちを成す」という言葉であります。これは「桃や李（すもも）は何も言わないけれど、美しい花や実に魅かれて多くの人が集まり、その下には自然と道ができる。それと同じように徳がある人間は、弁舌を用いなくても、人々はその徳を慕って集まり帰服する。」という言葉であります。

皆さんは、これから長い人生の中で、また仕事をする上で多くの人と付き合い交わることとなりますが、「常に相手の方を敬い、寛大に対応するなどすれば、結局は人との関係を良好にし、人から信頼され、徳も身につき、自分の人生を前に進めること」になると思います。

皆さんは大きな可能性をもっています。自分自身の可能性を信じ、岐阜薬科大学の卒業生としての誇りを持って頑張ってください。

わたしども岐阜薬科大学の教職員一同は、本日、自信を持って皆さんを社会に送り出すことができることに大きな喜びを感じております。

どうか、健康には十分ご留意され大いに活躍されることを祈念しております。

最後になりましたが、今日お帰りになられましたら、今日まで皆さんを温かく見守って支えてくださいましたご家族はじめ関係者の皆様方に必ず感謝の言葉を述べてください。そのことを申し添えまして私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

令和2年3月14日

岐阜薬科大学長 稲垣 隆司